

みんなでスポーツを!

題字(財)福島県体育協会長 佐藤栄佐久

第10号

2003.11

SPORTS FUKUSHIMA



生涯スポーツキャンペーン2003



New!!わかふじ国体夏季大会

「夏季国体を終えて」



財団法人福島県体育協会
副会長 小松山 善継

第58回国民体育大会「NEW!!わかふじ国体」夏季大会は、9月12日から16日までの5日間、静岡県において盛大に開催されました。夏季競技である水泳、サッカー、ボート、セーリング、カヌー、ボウリング、ゴルフの7競技に、本県から監督、選手、役員、148名が参加し、延べ25種目で入賞を果たしました。夏季大会男女総合成績では昨年の29位から21位へ、冬季大会と合わせた男女総合成績では32位から24位へと躍進し、10位台への復帰を目指す本県にとって、秋季大会への大きな弾みになったものと考えております。選手団団長として、改めて各競技の監督、選手の皆様、さらには、これまで選手等を支えてくださった関係者の方々に深く感謝申し上げます。

開会式に先立って行われた少年男子サッカー競技では、1回戦で強豪福岡県を延長の末、Vゴールにて破り、ベスト8をかけた地元静岡戦は0対1で惜敗したものの、その戦いぶりはまさに全国レベルであり、本県選手団の士気を大いに高めてくれました。

水泳競技では、昨年を上回る好成績で、計画的な強化指導の成果を示してくれました。競泳成年男子30歳以上50m背泳ぎで2位に入賞した三浦選手をはじめ、少年男子B400mリレーでの3位入賞など、多くの種目で入賞を果たしました。飛込においても、西川選手が成年男子飛板飛込で4位入賞と実力どおりの力を発揮し、旗手を務めた佐藤選手が少年男子高飛込で3年連続で入賞を達成しました。一人一人の選手が力を出し切り最高のパフォーマンスを見せてくれたことに心から賞賛の拍手を送ります。

カヌー競技においては、昨年少年で活躍した佐藤選手が、

成年種別初出場でありながらカヤックシングル500mで2位入賞と健闘しました。和田選手姉妹と山口選手、久野選手ペアがそれぞれ2種目に入賞するなど女子の活躍もあり、競技別成績では天皇杯7位、皇后杯2位と、カヌー王国福島の健在ぶりを全国にアピールしてくれました。

ボウリング競技においては、成年男子年齢別個人戦の3部門で入賞を果たし、躍進の原動力となりました。それぞれの選手が励まし合い、選手、監督、応援が一丸となった取り組みにより好結果を生み出したのではないかと思います。最終日、少年女子団体戦で、普段あどけない高校生の石塚選手、林選手の2人が、大きなプレッシャーのかかる中、ゲーム終盤まで競り合い、力強い投球で優勝を勝ち取ってくれました。まさに、今大会の本県勢の勢いを象徴する大きな勝利でありました。

それぞれの選手の真剣な取り組みは、そこに関わる者、そして見る者に大きな感動を与えてくれます。本県の代表選手として、全力を尽くし最後までプレーする姿は、県民に限りない勇気を与えてくれたものと確信しております。

今大会、少年種別での多くの活躍は今後を考えると嬉しい限りであり、未来への大きな活力になることでありましょう。スポーツを通して自らを磨き、継続してより高い目標へ向かって努力する真摯な姿勢は、本県スポーツ振興の推進力となるものです。これからも国内大会はもとより、世界に羽ばたく選手が数多く育つことを祈念し、福島県の未来を担う若い力の挑戦に大きな期待を寄せます。

第58回国民体育大会夏季大会成績概要

1 参加状況

大会	区分	会 期	開 催 地	団 長	参加 競技数	派 遣 人 数			
						役員	監督等	選手	合計
夏 季 大 会		平成15年9月12日(金) ~9月16日(火)	静岡県富士市他	小松山善継	7 (1)	18	23 (21)	107 (1)	148 (22)

1 参加競技数の()はビーチバレーで外数
2 派遣人数の()は競技団体派遣者数で外数

2 競技成績

大会	区 分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
冬 季 大 会		30.0点	30点	60.0点	22位	16.0点	20点	36.0点	17位
夏 季 大 会		146.0点	70点	216.0点	21位	88.0点	70点	158.0点	13位
合 計		176.0点	100点	276.0点	24位	104.0点	90点	194.0点	16位

3 夏季大会入賞者一覧

水泳競技	競技得点38.0点 19位	順位	得点	選手名	所 属
成年男子	30歳以上 50m背泳ぎ	2	7	三 浦 俊 樹	(財)県都市公園協会
	100m背泳ぎ	4	5	山 口 雅 文	中央大学1年
	飛板飛込	4	5	西 川 友 章	清陵情報高校教員
	高飛込	8	1	渡 邊 誠 進	(有)渡邊エンジニアリング
少年男子	飛板飛込	6	3	江 川 克 彦	清陵情報高校2年
	高飛込	5	4	佐 藤 由 彬	東日本国際大附属昌平高校3年
	B100m自由形	5	4	蛭 田 尚 宏	磐城高校1年
	B400mリレー	3	6	福 島 県	
				内 山 和 也	白河旭高校1年
				蛭 田 尚 宏	磐城高校1年
少年女子	A100m自由形	6	3	山 田 篤 未	会津工業高校1年
				白 井 孝 幸	安積高校1年
				原 田 文 子	日大東北高校3年



水泳競技 少年男子 B400mリレー 第3位 福島選抜
《写真提供：福島民報社》



カヌー競技 少年女子 カヤックペア500m 第4位 久野選手 山口選手
《写真提供：福島民報社》

目 次

- 生涯スポーツキャンベン2003・活躍する福島県選手
- 巻頭言「夏季国体を終えて」
目次
- 第58回国民体育大会夏季大会成績概要
- 日本一育成モデル事業
- 優秀指導者養成事業 韓国研修報告
- 生涯スポーツキャンベン2003
- 指導者研修会(スポーツフォーラム)
- 日本スポーツマスターズ2003和歌山大会報告
および日本スポーツマスターズ2004福島大会開催告知
- スポーツフェスタ2003
ニュースポーツ種目「ハンググライディング」
- 生涯スポーツ実践者紹介
体育施設とスポーツ教室紹介
- 総合型スポーツクラブ紹介
- スポーツと健康「サプリメントについて」
I N F O R M A T I O N
- 福島県県民スポーツ協力会会員紹介
編集後記

表紙：水泳競技 三浦選手《写真提供：福島民報社》 サッカー競技少年男子、ボウリング競技少年女子《写真提供：福島民報社》

ボート競技	競技得点1.0点 29位	順位	得点	選手名	所属
成年女子	シングルスカル	8	1	福地 愛	仙台大学 1年

カヌー競技	競技得点65.0点 7位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	レーシング・カヤックシングル500m	2	7	佐藤 滋	東和中学校 職員
成年女子	ワイルドウォーター1,500m	2	7	和田 藍加	大教イトマンスイミング二本松
	レーシング・カヤックシングル500m	4	5	鳴原 恵子	筑波大学 4年
	レーシング・カヤックシングル200m	4	5	鳴原 恵子	筑波大学 4年
	ワイルドウォーター500m	4	5	和田 藍加	大教イトマンスイミング二本松
少年女子	レーシング・カヤックシングル500m	6	3	和田 貴代	安達高校 3年
	レーシング・カヤックシングル200m	6	3	和田 貴代	安達高校 3年
	レーシング・カヤックペア500m	4	15	山口 智子	安達高校 2年
	レーシング・カヤックペア200m	4	15	久野 綾香	安達高校 1年
		4	15	山口 智子	安達高校 2年
			久野 綾香	安達高校 1年	

セーリング競技	競技得点5.0点 26位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	国体ウインドサーフィン級	4	5	飯原 崇仁	緑川総合保険

ボウリング競技	競技得点37.0点 9位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	年齢別個人戦 ユースの部	4	5	林 勇介	(有)はやし商会
	ハイミドルの部	4	5	遠藤 幹夫	インテリアエンドー
	マスターズの部	8	1	浅野 敏栄	(株)アサヒボウリングサービス
少年女子	個人戦	7	2	林 さおり	平商業高校 1年
	団体戦	1	24	福島 香織	郡山女子大附属高校 2年
					林 さおり



セーリング 成年男子 国体ウインドサーフィン級 第4位 飯原選手
《写真提供：福島民友新聞社》

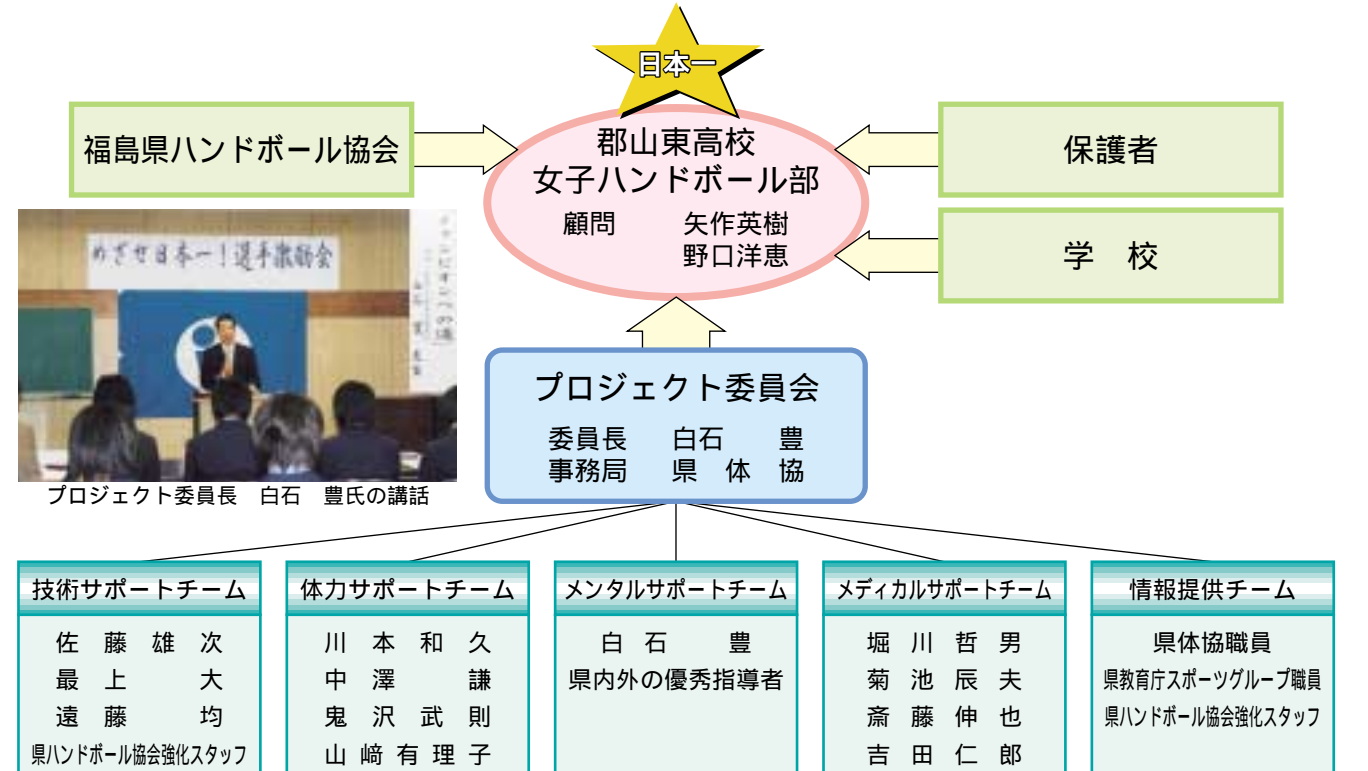


ボウリング競技 成年男子 ユースの部 第4位 林選手
《写真提供：福島民友新聞社》

“日本一育成モデル事業”がスタート!!

県体協は、郡山東高校女子ハンドボール部を対象に、技術・体力・メンタル・メディカル・情報提供の多方面からチームをサポートし、より科学的に競技力を向上させる日本一育成モデル事業を15年度4月からスタートさせました。下図にあるように、本県が誇る優秀な先生方がスタッフとしてこのプロジェクトを支えています。

日本一育成モデル事業組織図



事業1年目の今年、郡山東高校女子ハンドボール部は県大会を圧倒的な力で勝ち抜き、長崎で行われた全国高校総体でも、1・2回戦を勝ち抜きベスト16の好結果を残しました。3回戦では優勝した夙川学院（兵庫）に破れましたが、日本一のチームと対戦できたことは、将来の日本一を目指す郡山東高校にとって大きな糧となりました。現在郡山東高校女子ハンドボール部は1・2年生による新チームで来年の全国大会入賞を目指して練習に励んでいます。



県高校大会の結果

- 2回戦 郡山東 36 - 5 本宮
- 3回戦 郡山東 31 - 2 安積
- 準決勝 郡山東 19 - 8 福島西
- 決勝 郡山東 33 - 12 安達東



【郡山東 - 夙川学院】シュートを放つ郡山東の緑川恵美 = 佐世保西高体育館 《写真提供：福島民友新聞社》

【ハンドボール女子決勝・郡山東 - 安達東】
後半、カウンターから郡山東の大河内香がシュートを決め25点目 《写真提供：福島民友新聞社》

県高校大会で圧倒した郡山東高校女子ハンドボール部
2年ぶり20回目の優勝

全国高校総体で健闘し、ベスト16に進出した同チーム

- 1回戦 郡山東 26 - 24 高山（岐阜県）
（延長）
- 2回戦 郡山東 22 - 12 賀茂（広島）
- 3回戦 郡山東 14 - 21 夙川学院（兵庫県）
ベスト16（夙川学院が優勝）

本事業は、各競技団体において、現在、強化指導にあたっているとともに、将来的にも中心的な役割を果たす指導者を、トップレベルの強化策や指導体制を学ぶことができる国内外の研修会等へ派遣し、より高い専門知識や指導技術を習得することにより指導者としての資質の向上を図ることを目的に実施している。

昨年度はオーストラリア、ヨーロッパ、中国、韓国等の国外及び北海道から九州までの国内に15名が派遣された。

ソウル市体育協会

1999年よりオリンピックスタジアム(写真1)に事務所が移転、ソウル市



1,100万人の体育スポーツを管理している。当日は、我々を金容澤総務部長、康賢吉企画長が快く迎え入れ、ソウル市の体育スポーツ事情について説明してくれた。(写真2)



韓国には、一般市民を対象とした「生活体育競技会」、スペシャリスト育成を目的とする「大韓体育協会」の組織がある。ソウル市体協では、日本の国体にあたる「全国体育大会」を競技力の指標として位置付けているが、近年は社会体育に力を注いでいるとのことであった。しかしながら、協会のロビーには「體育報國」という書が掲げられており、「体育スポーツを通じ国に報いる」という韓国の考え方は、今後の研修のキーワードになった。

テヌン国家スポーツトレーニングセンター

ここでは村長(トレーニングセンターの最高責任者)から直に施設等の説

明を受けることができた。

309,317㎡という広大な敷地をもつ「トレセン」には、11の体育館に2つのインドアスケートリンク(写真3)、アーチェリー場(写真4)、フィール



ドホッケー場、韓国スポーツ科学学会などの施設がある。

各競技の上位入賞者の中からさらに選出された者だけがこのトレセンで訓練(韓国では練習をこう呼ぶ)ができ、全寮制で、選手は個人ごとに栄養士が作成した食事を摂るなど、普段の生活からエリート教育を受けるとのことであった。

後半はバスケットボール競技ほか6競技のコーチと我々との懇談会が開かれた。(写真5)彼らに韓国スポーツの強さの秘訣を聞くと、「選手がスポ



ーツに打ち込める環境整備」と「スポーツ科学の研究と実践」をあげた。昨今の韓国の経済成長にともない、今まで韓国スポーツの強さを支えていた「ハングリー精神」が失われつつあり、それに変わるものとして、前述した二点を強調していたのは印象的であった。

また、メンタルトレーニングについて質問をすると、「メンタル」部分だけの単独トレーニングはしておらず、実践を交えた中で精神面を強化しているとのことであった。

アーチェリーのコーチからは、真夏の100km行軍や真冬の夜に行軍をしたり、軍の特殊部隊でトレーニングを行うなどして、メンタルトレーニングを兼ねているといった話をうかがった。これ以外でも、ハンドボール競技やホッケー競技における日韓のプレスタイルの相違点等にも話がおよび、様々な面で刺激を受けることになった。この施設のコーチはナショナルのコーチでもあり、その指導法については確固たる信念を持っていることが分かった。

大統領の直属組織に、韓国オリンピック委員会と韓国体育協会があり、その下部組織にこの「トレセン」がある。これは韓国が国家事業としてスポーツの強化を図っていることを意味するものである。そして、トレセンにかかる運営費の大部分は国家予算より捻出されているとのことであった。日本でも一部類似している競技があるが、参考になるべき点が多数あったように思う。

ソウル高校

1971年にスポーツの強化と指導者の

育成を目的として設立された市立高校である。

全校生は450人、各学年3クラス的全寮制であり、男女の比率は3対1である。

校長先生より話をうかがい(写真6)ソウル市はもちろん、国家のス



ポーツ強化のための高校であることから、授業料は免除され、また生活に必要な費用はすべて行政から援助されているなどの話があった。通常、午前中は授業、午後2時30分から自分の訓練を開始する。どの競技にもコーチが張り付き、それでいて「やらされる練習」ではなく、自ら課題を持って取り組んでいるように見られ(写真7～8)



改めて生徒(選手)の目的意識の高さに驚いた。目的意識とは、国の代表選手、そして国際大会でのメダル獲得である。立派なウェイトトレーニング場(写真9)や射撃場もあり、ここでも韓国の強さをかいま見た気がした。



国立韓国体育大学

ソウル市立高校に隣接する韓国体育大学は国内唯一の体育専門大学である。

体育学科と競技指導者学科があり、その実績によりエリートと呼ばれる学生と一般学生に分けられる。エリートになると学費、寮費が免除される。

全寮制で、ここでも栄養面等管理された生活を送っている。

アーチェリー場、スケートのショートトラックリンク(写真10)、6レーンのボウリング場(写真11)、人工芝



のホッケーグラウンド他多数の施設が備わっていた。(写真12～13)

研修参加者

氏名	競技名	氏名	競技名
武藤 士津夫	剣道	橋本 寛	ライフル射撃
藍原 浩	ボクシング	桐生 良勝	体操
佐藤 亨	銃剣道	遠藤 均	県教育庁スポーツ健康課
上田 訓久	アーチェリー	菅波 智之	財団法人福島県体育協会
遠藤 浩太郎	ホッケー		



・終わりに

今回の研修では「體育報國」「国家的支援」が韓国スポーツの強さにあると感じた。

あらゆる場所に掲げられている「體育報國」(百戦百勝、必勝報國というのもあった)という、スポーツにより国に恩返しをする、といった考えが逆境にも耐え得る精神力を身に付けさせるのであろうか。またエリートを育てるといった国の施策についても、韓国の選手は恵まれていると言えよう。「ハングリー精神」を持っていた韓国であるが、現在は整えられた環境の中で実力を上げ、結果を出していくことにより「ハングリー精神」を育てるようにも感じられた。また組織間の主義主張の相違や縄張り争いの多い日本と違い、各組織、団体、そして社会全体が連携し合い、代表選手を作り上げているという感想を持った。

生涯スポーツキャンペーン2003

ニュースポーツ体験教室・公開イベント

去る平成15年7月27日(日)に、福島市のおづま総合運動公園で生涯スポーツの振興と普及を目的として、「生涯スポーツキャンペーン2003」を開催いたしました。ニュースポーツ体験教室やアバレンジャーショーなどの公開イベントを行いました。ニュースポーツ体験教室は、雨天等により15種目中11種目の開催となりましたが、お子さんはもちろん、ご家族連れでの参加が多く、楽しんで体験していただきました。公開イベントも会場が熱気に包まれるなど、大好評でした。



ニュースポーツ体験教室・公開イベントの様子



パラグライダー
ふわっと浮いた感覚は体験してみないとわかりません。



ディスクゴルフ
親しみやすく、人気のあるスポーツです。



木球
芝が長くてみなさん苦労したようです。



ウォークラリー
あづまの自然の中、身も心もリフレッシュ。



ウッドクラフト
子供はもちろん、大人も熱中。



アウトドアクッキング
流しソーメンも道具作りから。



クライミング
みんな頂上目指して頑張りました。

雨にも負けず、ニュースポーツ体験教室・公開イベントに
3,095名が参加!



ネイチャーゲーム
自然を対象としたゲームに参加者も満足。

アバレンジャーがやってきた!



アバレンジャーショー
子供に大人気。ヒーローはカッコいいね。



グラウンドゴルフ
大人から子供まで気軽に楽しめるスポーツですよ。



バウンドテニス
コートが狭いので意外と難しい。

ストラックアウト
参加した方々は何枚抜けたんでしょうね?



「YOSAKOI
みんな元気に
ラッセラー、ラッセラー」



マーチング
やっぱり生演奏はいいですね。



フリーマーケット
雨上がりの曇り空。屋外でのフリーマーケットに来ていただいたお客さん、出店していただいた方々、ありがとうございました。



うつくしま広域スポーツセンター表彰式
うつくしま広域スポーツセンターの愛称・キャッチフレーズ募集(一般公募)により、最優秀賞や優秀賞となった方々の表彰が行われました。

「ふくしま生涯スポーツフォーラム2003」から

特別講演

「日本サッカー協会の取り組み」

静岡市サッカーのまち推進室長・財団法人日本サッカー協会理事
綾部 美知枝 先生



本年度最初のスポーツ指導者研修会『ふくしま生涯スポーツフォーラム2003』は、7月5日郡山市の日本大学工学部で開催しました。

▶▶▶ サッカーのまちづくりとは ◀◀◀

清水市は昨年静岡市と合併して静岡市となった。清水市はサッカーの盛んなまちとして全国に知られているが、住民たちの地道な活動によって「サッカーのまち」が築きあげられてきた。その後、行政が関わるようになった。地域ごとにスポーツを楽しむ機会と場所を提供するなど、生涯スポーツの振興を目指した取り組みをはじめた。スポーツの日を制定したり、市内の各地に芝生のグラウンドづくりを手がけてきた。ナショナル・トレーニングセンターの設置にともない、市民がこの施設を活用しスポーツを楽しんでいる。お年寄りが芝生のグラウンドでジョギングやグラウンドゴルフをしたり、子どもたちやお母さんたちがサッカーを楽しむ環境ができてきた。やがて「リーグ結成となり清水エスパルスが誕生し、そして静岡市で2002年サッカー・ワールドカップを迎えることになったのである。

▶▶▶ ワールドカップは成功したのか ◀◀◀

念願であった日本でのサッカー・ワールドカップ開催は東アジア地域のサッカーの競技力を高めることが最大の目的であった。開催国である日本と韓国のサッカー競技力を高めたこと、日本の文化を世界に知らしめたこと、外国選手に対する日本人の持て成しが好感を得たことなど、それぞれの分野で大きな成果を残したと言えよう。ワールドカップで得た大きな遺産をこれからの日本のスポーツ振興にどう活かすかにかかっている。

▶▶▶ 日本サッカー協会の取り組み ◀◀◀

普及・強化・指導者養成を中心としたシステムを見直し、新たな方向へ挑む取り組みをしている。世界で通用する選手を育成するためにはどうするか。低年齢から良い指導者によって育てることが最も基本。若手層の育成・指導者の養成・日本代表の強化を図る三位一体の強化策を打ち出した。各カテゴリー世界大会を経験させること。特にユース年代、女子選手の強化に本腰を入れる。指導者の資質の向上を図ること。勝利至上主義的な考えではなく、技術指導は勿論、スポーツの楽しさや栄養指導もできる総合的な資質を備えた指導者の育成が望まれる。日本代表の強化は前述の の過程を経て推進する。また日本型トレセンシステムによる強化を図り、プレーヤーとコーチの双方で育成ビジョンの共有化を図られるようなシステムづくりにつとめる。以上の観点から日本のサッカーが新しい方向へ発展することに期待して課題解決に向けた取り組みをしている。

(文責 福島県スポーツ指導者協議会 安藤敬男)

往年の名選手も参加！

日本スポーツマスターズ2003和歌山大会

競技志向の高い中・高齢者を対象とした日本スポーツマスターズ。第3回を迎える今年は、9月19日から23日までの5日間、和歌山県内3市5町にて陸上競技やバレーボール競技など、計13競技が行われ、男女併せて5,874名が秋の紀州路に集いました。我が福島県選手団は、水泳競技を除く12競技に参加し、サッカー競技で準優勝(参加16チーム)、ゴルフ競技男子個人で準優勝(参加126名)を飾るなど、すばらしい活躍が見られました。

「また来年も！」と語る参加者も多く、皆さん、新たな目標を持って帰路に着いたようです。



S.M.J-P-0401



陸上競技



バスケットボール男子



バレーボール男子(手前:福島県チーム)

日本スポーツマスターズ2004 福島大会開催決定！

日本スポーツマスターズ大会が、来年福島県で開催されます。本県選手団のより一層の活躍が期待されるどころです。

現在、県民の皆様の協力を得ながら、素晴らしい大会となるよう準備をしているところです。県内6市5町1村での開催予定で、会期・会場については右記の予定となっています。



会期 平成16年9月22日(水)~26日(日)
9月22日(水)開会式(前夜祭) 23日(木)~26日(日)各種目開始式・競技・スポーツ教室

種目・開催市町村・競技日程(予定)

郡山市 開会式(前夜祭) 22日(水) ソフトボール(女子) 23日(木)~25日(土) 女子 35歳以上 バスケットボール(男女) 23日(木)~26日(日) 男子とも 35歳以上 ボウリング(男女) 23日(木)~26日(日) 男女とも 45歳以上	福島市 水泳(男女) 23日(木)~24日(金) 男子 1歳(40歳以上)~50歳未満 2歳(50歳以上) 女子 1歳(35歳以上)~45歳未満 2歳(45歳以上) バレーボール(男女) 23日(木)~26日(日) 男子 40歳以上 女子 35歳以上
会津若松市 テニス(男女) 23日(木)~26日(日) 男子 シングルス 35歳以上 ダブルス 45歳以上 女子 シングルス 40歳以上 ダブルス 40歳以上	原町市 綱引(男女) 23日(木) 男女とも 35歳以上
下郷町 空手道(男女) 23日(木)~25日(土) 男子 1歳(40歳)~3歳(60歳以上) 2歳(60歳以上) 女子 1歳(35歳)~3歳(45歳以上) 1歳(40歳)~2歳(50歳以上)	楮葉町・広野町 サッカー(男子) 23日(木)~26日(日) 男子 40歳以上
田島町 ソフトボール(男子) 23日(木)~26日(日) 男子 40歳以上	いわき市 パドミントン(男女) 23日(木)~25日(土) 男女とも A 40歳以上 同区分 B 45歳以上 C 50歳以上
泉崎村 自転車競技(男女) 25日(土)~26日(日) 男子 1歳(35歳)~5歳(65歳以上) 女子 35歳以上	須賀川市 ゴルフ(男子) 23日(木)~24日(金) 男子1949年12月31日以前生まれの者
矢吹町 ゴルフ(女子) 23日(木)~24日(金) 女子1954年12月31日以前生まれの者	

年齢基準は、平成16年4月1日現在

(財)福島県スポーツ振興基金助成事業

ふくしまスポーツフェスタ2003 inしらかわ

(兼第23回福島県レクリエーション大会)

今年も県民の方々に、スポーツ・レクリエーションの場を提供し、スポーツ活動等を通して健康で明るく潤いのある生活をしていただこうと、「ふくしまスポーツフェスタ2003inしらかわ」を開催いたしました。インディアカやバドミントンなど全26競技が、去る10月5日(キャンプのみ4,5日)に白河市・大信村の各公共施設30会場にて盛大に開催されました。

総勢約3,600名の参加があり、日頃の練習の成果を存分に発揮しようと熱が入る一方、参加者同士でコミュニケーションを図りながら、和気あいあいと楽しんで参加している姿が多々見られました。



総合開会式



パークゴルフ



武術太極拳

ニュースポーツ種目の紹介

「ハンググライダー」

福島県ハンググライダー連盟
事務局長 昆野 克昭

最もシンプルな形で空を飛ぶことができるのが、私たちが行っている「ハンググライダー」と「パラグライダー」です。一般の方には、名前と形が一致しないと思いますが、ハンググライダーは骨組みのある三角形の翼で、パラグライダーがパラシュートのような生地で翼を形成しているものです。

私たちの福島県ハンググライダー連盟は、社団法人日本ハンググライダー連盟の傘下であり、平成2年に県内の愛好者によって発足されました。発足当初はバブル期ということもあり、約250名程が会員



に登録されていましたが、現在では9つのエリアに13団体、2大学の約160名程が登録されています。

危険なものと思われがちなスカイスポーツですが、近年のグライダーの進歩や指導者の技術向上により、生涯スポーツとして楽しめるようになり、県内のフライヤーにも、親子でフライトしている方や定年後のスポーツとして楽しまれている方が増えてきています。大学においても、体育の必修科目に取り入れられたり、部活動として楽しんでいるようです。

今後、このスカイスポーツがより安全で楽しいものとなるように、私たち連盟もさらに努力していきたいと思えます。

連絡先
福島県ハンググライダー連盟事務局
(三ノ倉パラグライダーズスクール)
昆野 克昭
TEL 0241 - 36 - 3363



生涯スポーツ実践者の紹介

『スポーツと私』

福島市バウンドテニス協会
会長 山崎 光彦



私は、バウンドテニスと出会うまで、地区を中心とした20チームほどが登録をして行うリーグ戦によるソフトボール大会の開催を行っていました。年間130試合ほどを連日実施し、地域の多くの方との親善交流を図ってきました。

そのような中、「スポーツは2種目以上違った種目をやった方がいいよ」とのアドバイスがあり、それならばということで地区体育協会のニュースポーツ紹介のバウンドテニス講習会に一抹の不安を抱きながら参加しました。初めはボールがラケットに思うように当たらず苦戦しましたが、練習や大会が終わってからの懇親会がすべての結果を和らげてくれたのが現在に繋がっていると思っています。

昭和62年、地域の皆さんとの交流を求めて、また平成元年には市協会設立に伴う市内各クラブとの交流、そして平成4年、県協会設立によって更に大きな波紋となった付き合いが続いています。

生涯スポーツとして始まったバウンドテニスも、今では競技性の色合いが強くなってきました。何れの時もスポーツマンとしてフェアに、且つフレンドシップに満ち溢れた楽しいものとなるよう前向きな考えで臨んでおります。

バウンドテニスは今、小学生から高齢者まで幅広く普及し、県総体を初め、競技性の強いものからレクリエーション的なものまで、技術に応じた各種大会が開催されています。

県協会の理事長として県民の健康増進と明るく住み良い地域の活性化に向け、微力を尽くしていきたいと考えております。

『戦いは、己自身の中に有り』



ダブルス戦の様子
(平成15年度第14回東北ブロックバウンドテニス親善交流大会)



選手・役員の方たちと記念撮影

体育施設とスポーツ教室の紹介

磐梯山麓に完成。健康増進・コミュニティ施設!!

猪苗代町総合体育館 カメラリーナ

猪苗代町総合体育館「カメラリーナ」は、平成14年9月にオープンした総合体育施設です。館内は、メインアリーナ(バスケットボール2面またはバレーボール3面)、サブアリーナ(バスケットボール1面またはバレーボール1面)、1周200mのランニングコース、トレーニングルーム、会議室、幼児室、温水シャワー付更衣室等の施設で構成されています。

各アリーナの床は、温水の床暖房となっており、寒

磐梯山を背にしたカメラリーナの外觀



メインアリーナ

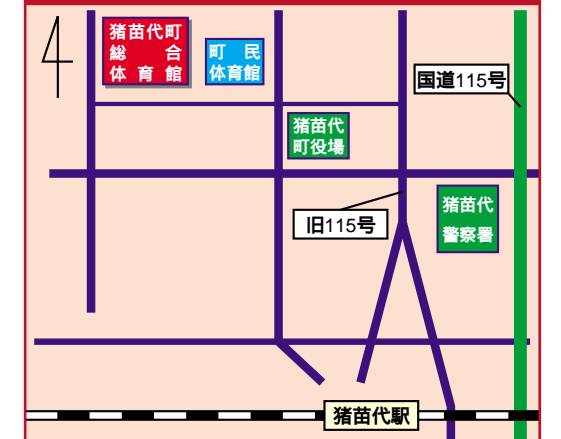
健康の運動教室



い冬でも快適にスポーツを楽しむことができます。トレーニングルームでは、健康づくりのための指導・講習会も開催しています。そのほかにも町民の心と体の健康づくりのため、定期的に「健康運動教室」なども行っております。

なお、バリアフリー仕様となっておりますのでご高齢の方や車椅子の方もお気軽にご来館いただけます。皆様のご利用をお待ち致しております。

交通のご案内



猪苗代町総合体育館
(管理 株式会社 まちづくり猪苗代)

問い合わせ先 TEL (0242)72-1534

FAX (0242)72-1594

たまかわ元気スポーツクラブ (玉川村)

【問い合わせ先】
たまかわ文化体育館内
たまかわ元気スポーツクラブ
Tel 0247-57-4632



同じ地域に住む人たちが、世代や年齢に関係なく、様々なスポーツを技術レベルや志向に応じて活動できる。これまで活動していた人たちが手を取り合い、お互いによりよい活動を目指し、何よりもスポーツをしたいと思った人が気軽に参加できるクラブとして平成15年3月1日に立ち上げました。“たまかわ”は元気な村をめざして、みんながんばっています。そこでクラブの名称もその“元気”を生かし「たまかわ元気スポーツクラブ」と名付けました。

このクラブの特徴は、誰でも様々なスポーツを気軽に親しめる機会をサロンや教室、イベントとして実施しています。

また、指導者の育成や情報の提供を行っています。

クラブの概要 平成15年3月1日設立 会員数 332人 (H15.8.26現在)

1 スポーツサロン 月2回 第2・4土曜日実施 15:00 ~ 18:30

	15:00 ~ 16:30	17:00 ~ 18:30
たまかわ文化体育館	バドミントン&バスケットボール	ちびっこ
スパークたまかわ	ゲートボール	(雨天時)グラウンドゴルフ
村民グラウンド	グラウンドゴルフ&ソフトボール	サッカー&フリー
村民テニスコート	テニス(硬式・軟式)	
玉川村体育センター	ラージボール卓球(第2・4木曜日9:30 ~ 11:30)	

2 スポーツ教室 講師を依頼して実施。受講料(会員200円、非会員400円)

- ちびっこ体操教室
- いきいきスポーツ教室(太極拳)
- テニス教室
- ランニング教室
- ウォーキング教室
- スケート教室
- スキー教室

3 サークル活動

- ランニングサークル 毎週火曜日と金曜日18:30~
- エアロビクス 毎週金曜日19:15~

4 イベント ・施設愛護活動 ・ボウリング大会等

5 チャレンジスポーツ(スポーツ少年団も含む)

- ゲートボール ・野球 ・バレーボール ・ソフトボール ・卓球
- スキ ・グラウンドゴルフ ・サッカー ・バスケットボール
- 剣道 ・空手 ・柔道 ・バドミントン ・よさこい

6 広報活動 2ヵ月に1回発行

7 会費

- 就学前 200円
- 高校生以下 600円
- 大人 1,200円



ちびっこ体操教室



テニス教室



ランニング教室

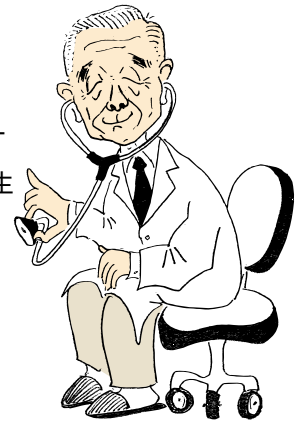


太極拳教室

ONE POINT

(財)福島県体育協会スポーツ医・科学委員会委員長
(社)日本医師会(財)日本体育協会公認スポーツドクター

本宿 尚 先生



「スポーツと健康」ワンポイント講座

~サプリメントについて~

サプリメントは「サプリメントフーズ」の略称で、栄養補助食品のことです。食事をしっかり食べている人には必要のないものです。

ただ、激しいトレーニングを行っている選手は、栄養の消耗が大きいのですべてを日常の食事で補うことが難しいということからサプリメントが登場しました。

しかし、サプリメントはあくまでも補助食品です。できる限り食事をきちんと摂ることをお勧めします。もし、サプリメントを使用するとしても、自分にはどのような栄養素が不足しているのかを専門家に食事調査を依頼して、データをもとに食事を改善し、それでも不足する分をサプリメントで活用した方がよいでしょう。それが無理なときには自分で蛋白質、牛乳、野菜、レバー、小魚、海藻等で不得手なものをチェックして、自分に適したサプリメントを使用することです。

最近では栄養不足を補うという意味でなく、ある特定機能を強めるという考え方でサプリメントを使用する選手も出てきました。

しかし、その中には競技会等で禁止物質となっているエフェドリンなどを含むサプリメントがまわっていることも事実です。サプリメントを使用するときは、どんな場合でも成分をよく確かめて信頼できる商品を使用することにしましょう。

INFORMATION

日本スポーツマスタース2004 福島大会

うつくしまスポーツボランティア募集!

募集期間 平成15年9月から平成16年5月末まで

募集予定人数 スポーツボランティアコーディネーター..... 100名程度
スポーツボランティア..... 1,000名程度

詳しくは下記にお問い合わせください。
福島県教育庁スポーツグループ内 日本スポーツマスタース2004福島大会実行委員会事務局
TEL 024-521-7795 FAX 024-521-7974

"うつくしま、ふくしま。"スポーツ情報ネット

HOT-NET



http://www.sports-fukushima.or.jp
E-mail info@sports-fukushima.or.jp
スポーツに関する情報を提供します。

スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。5名以上でご加入下さい。

お問い合わせ (財)スポーツ安全協会 福島県支部

☎024-521-1291

平成15年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～ 私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| (株)東邦銀行
福島県信用金庫協会
(株)ホシ製作所
福島民友新聞(株)
合資会社「東館」
信越半導体(株)白河工場
(株)東北装美
(株)モリヨシ技研
呉羽環境(株)
(有)番場産業
(株)鈴木石油商会
福島県中央商工振興協同組合
福島県建設業協会双葉支部
(株)福島中央テレビ
クリナップ(株)わかき事業所
山木工業(株)
呉羽化学工業(株)錦工場
堺化学工業(株)小名浜事業所
(株)渡辺組
堀江工業(株)
名木製帽店
江花建設(株)
(株)ダイユーエイト
六陽印刷(株) | 福島県商工会連合会
福島県信用保証協会
福島県旅館ホテル環境衛生同業組合
東亜道路工業(株)福島営業所
福島テレビ(株)
佐藤工業(株)
ゼビオ(株)
花春酒造(株)
関場建設(株)
福島県中小企業共済協同組合
東関クレテツズ(株)
福島日産自動車(株)
大熊町体育協会
池田食品工業(株)
東北電力(株)福島支店
小名浜製錬(株)小名浜製錬所
(株)加地和組
福島運送(株)
東邦亜鉛(株)小名浜製錬所
東急観光(株)福島支店
(株)松崎
滝谷建設工業(株)会津若松店
タカラ印刷(株)
(株)平和印刷所 | (株)クラロンスポーツ
(有)ボンダ印刷
キング印刷(株)
福島県議会スポーツ振興議員連盟
東信建設(株)
福島交通(株)
(株)環境分析研究所
福島県ゴルフ連盟
石川建設工業(株)
東北建設(株)
庄司建設工業(株)
福島ネオ工業(株)
東京電力(株)福島事務所
(株)山川印刷所
新日本ソル(株)製造部
日本化成(株)小名浜工場
錦興業(株)
常磐興産(株)
大塚製薬(株)郡山出張所
(株)海老名建設
アサヒ通信(株)
(株)ヤクルト本社福島工場
(株)タナカ情報ビジネス福島営業所
(有)エンドースクリーン | 福島県信用組合協会
(有)吾妻印刷
(株)福島民報社
磐城通運(株)
福島ゴム(株)
橋本フォーミング工業(株)福島工場
(株)古灌
(株)ウエディングエルティ
新田産業(株)
(有)ひらい
富岡町体育協会
楢葉町体育協会
(株)アクト
(株)民報印刷
福浜工業(株)
クレハ建設(株)
(株)福島テレビエンタープライズ
(株)日進堂印刷所
陽光社印刷(株)
(株)高橋建設
福島ガス(株)
寿建設(株)
福島ヤクルト販売(株) |
|--|--|--|--|

個人の部(加入順)

- | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|
| 片平 俊夫
本宿 尚
吉田 政勝
青木 稔
国井 裕一
服部 啓吉
荒川 信郎
伊藤 隆司 | 下山田好宏
結城 勝夫
猪俣 昭洲
佐藤 昌志
岩田 徹
佐藤 真一
古川 忠信
遠藤 均 | 下山田恵一
佐藤 十次
林 幸夫
前田 長
伏見 俊哉
永山 美智子
花井 宣明
福島県教育庁スポーツグループ職員一同 | 河原 享
古市 孝雄
朽木 耕作
五十嵐源一郎
吉田 伸一
穴戸 正幸
星 光一 | 吉田 安男
内藤 繁
岩本 忠夫
矢内 哲郎
鈴木 清文
橋 和彦
佐藤 譲敬
(財)福島県体育協会職員一同 | 北村 孝男
斎藤 久男
豊田 博隆
本田 俊教
内川 耕司
上竹 毅
穂本 哲也 |
|--|--|--|--|---|--|

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、8年目を迎えました。この協力は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようになるために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。

本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

- 加入期間.....入会后5年間
協力金額.....毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
加入窓口.....財団法人福島県体育協会事務局 総務係 TEL024-521-1291

本誌は、財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業(情報提供事業)により作成したものです。

編集後記

平成8年、ふくしま国体の翌年に創刊されました本誌も第10号を発行することとなりました。競技力の向上と生涯スポーツの普及・振興を目指し、本県スポーツ振興の一助となるよう努めてまいりましたが、これからも創刊時の初心を忘れず、広く県民の皆様様にスポーツ情報の提供を行っていきたくと考えております。お気づきの点がありましたら、お気軽に御意見等をお寄せ下さるようお願いいたします。

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター
(あづま総合体育館内)

福島市佐原字神事場1番地
http://www.u-kouiki.jp/USC/uSCtop.html
E-mail azuma-kouiki@k2.dion.ne.jp

TEL 024-594-0015
FAX 024-594-0016

浜通り広域スポーツセンター
(Jヴィレッジ内)

双葉郡楢葉町大字山岡字美森8番地
http://www.u-kouiki.jp/HDSC/hamaSC.html
E-mail hama-kouiki@k4.dion.ne.jp

TEL 0240-26-0555
FAX 0240-26-0556

中通り広域スポーツセンター
(たまか文化体育館内)

石川郡玉川村小高字大谷地71
http://www.u-kouiki.jp/HDSC/nakaSC.html
E-mail naka-kouiki@r2.dion.ne.jp

TEL・FAX
0247-57-2585

スポーツ医事・トレーニング無料相談

スポーツ障害による悩みや疑問に相談員が適切な指導助言をします。

お問い合わせ

(財)福島県体育協会

TEL 024-521-7896
FAX 024-521-7971